

近畿税政連



近税政HP

令和7年(2025年)

5月10日

第273号

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 那須弘敬 / 編集人 矢田善久
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <https://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



花見頃(第2回写真コンテスト「入選」)

撮影:小西 里枝(和歌山支部)

■ 第27回参議院議員通常選挙 推薦候補者5名を決定	3
■ 第3回写真コンテストのご案内「応募受付中」.....	14

焦点

昨年の10月に実施された衆議院議員総選挙の結果、自公政権は衆議院議席数の過半数を割り込み、少数与党の状態となった。

法案審議などでは改選前のようなスムーズな国会運営とはいかず、常に緊迫感のある与野党協議がなされている。

税制改正について言えば、例年は与党の税制調査会(税調)での議論の中で大勢が決し、これを受けて年末に政府税制改正大綱が閣議決定され、通常国会での衆参審議を経て、来年度予算と共に成立していた。しかし本年の場合は、いわゆる「103万円の壁」の見直しを巡る与野党の攻防がクローズアップされたように、自公国3党の幹事長合意と与党税調協

少数与党

議との溝が埋められない状態での政府税制改正大綱の決定となった。

年が明けて開会された通常国会では「教育無償化」などを織り込んだ自公維3党の幹事長合意のもと、当初予算案を修正のうえ衆議院を一旦通過した。これに関連して所得税の基礎控除が細分化されることとなった。参議院では史上初となる予算案の再修正をおこない、本会議で可決後、再び衆議院に回付されて何とか年度内での予算成立となった。さて、本誌がお手元に届く頃には、今夏の参院選を睨んだ与野党間での駆け引きも新しい局面を迎えていることだろう。税政連としての今後の活動も慎重な行動が求められる。

(幹事長 長谷川 隆史)

主張 やはり、声掛け

近畿税理士政治連盟副会長 伊田 憲司

以前にも本稿で述べさせていただいたが、会員の参加意識の低下による会費収納率の逡減傾向が相変わらず続いている。税理士登録者数は年々増加しているのに…である。

政治に無関心であったり、税理士法関連を含む税制改正にあまり期待できずあるいは失望や憤りを感じているかもしれない、他人任せを決め込んでいたり、事務所のボスの許可が出なかったり…等々いろいろな要因は考えられる。



伊田 憲司 副会長

なお、別途の話ではあるが、法改正に関する意見をお持ちの会員にあっては、近畿税理士会調査研究部の税制改正に関する意見募集時に、積極的に意見を提出されるようにお勧めする。

税理士政治連盟（以下、税政連という。）の活動は、単に特定の政治家を応援するというようなものではなく、日本税理士会連合会（以下、日税連という。）で議決された税制改正に関する意見書（建議書）に基づき、これを実現するために立法府の構成員である国会議員に直接働きかけ、その趣旨に理解と賛同を得て、協力をしてもらうための重要な役割を担うものである。日税連でも、財務省や総務省等に同建議書を提出しているが、それだけでは改正につながる可能性は高くない。税理士会は税理士法第49条によって設立された強制加入の特別法人であるため政治活動ができず、税政連の活動はこれを補完するものである。よく言われる「車の両輪」である。

先に触れたさまざまな要因によって、税政連の活動に消極的な会員諸氏にどうしたら目を向けてもらえるか。強制できない以上、各自の認識と自覚を待つしかない。では、どうやってそれらの意識をもってもらうか。元々積極的にかかわらない諸氏に組織立ってアピールをおこなっても、琴線に触れることは難しい。やはり、親しい間柄の友人からの「税政連というのはこういう組織で、こんな活動をしているんだよ、できれば可能なことから参加してみない？」といった誘い掛けが一番ではないかと考える。

今年の7月には第27回参议院議員通常選挙がおこなわれる予定であり、当連盟では推薦審査会を経て、推薦候補者を決定している。

税理士による後援会活動や推薦活動を通じて、国会議員に直接税制改正などの要望を伝えられることは非常に貴重な機会であり、「あるべき税制」を建議できる立場にある税理士にとって大切な「職責」のひとつと考える。人任せにすることなく、一人ひとりの自覚と行動が必要である。

本文をご高覧いただいた会員のみなさまの中に少しでも共感いただける方は、是非周りのお知り合いに向けてアクションを起こしていただきたいと願う次第である。

目次	焦点 少数与党	1
	主張 やはり、声掛け	2
	第27回参議院議員通常選挙 推薦候補者5名を決定	3
	第59回定期大会のご案内	4
	国会議員等による確申期税務相談会場の視察	5
	後援会ニュース	8
	税理士制度発展募金	12
	税政連Q & A	13
	第3回写真コンテストのご案内	14
	かんさいすずめ	15
	銀河系	15

第27回参議院議員通常選挙

推薦候補者5名を決定 ～推薦審査会～

本年7月に施行予定の第27回参議院議員通常選挙における当連盟推薦候補者を決定する令和6年度・第3回推薦審査会を令和7年2月19日にWEB会議で開催した。

府県連・支部連から報告のあった推薦候補予定者5名の審議をおこなった。

推薦審査会に先立ち、大阪府連合会、兵庫県連合会、および京都府・奈良県・和歌山県・滋賀県の各支部連では、支部および税理士による国会議員等後援会と協議をおこない「国会議員選挙区選挙における推薦基準」に基づき当該選挙における各府県連の推薦候補予定者を決定した。

本部の推薦審査会では、各府県連および各支



部連における推薦決定の審議経過とともに推薦候補予定者の経歴や実績が報告され、推薦基準に基づいて慎重な審議をおこない、5名の推薦を決定した。さらに、日本税理士政治連盟においても推薦審査会でこの5名全員の推薦が決定した。

国会議員選挙区選挙における推薦基準

1. 被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できると思われる次の各号の一に該当するものであること。
 - (1) 近畿税理士会、及び本連盟の重点施策に過去尽力された議員、または今後これらに対して協力が得られると認められる者
 - (2) 税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者
2. 推薦は、衆議院議員小選挙区選挙及び参議院議員選挙区選挙について選挙区ごとに原則として1名とする。
3. 推薦は、選挙ごとに本連盟推薦審査会において決定する。

国会議員比例代表選挙における推薦基準

被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できると思われる次の各号の一に該当するもので、推薦審査会が特に必要と認めた立候補予定者に限ることとする。

- (1) 税理士業界に対する貢献が極めて顕著であると認められる議員、または今後、多大な貢献が得られることが確実と認められる者
- (2) 税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者

(※推薦候補者一覧は、次ページ参照)

第27回参議院議員通常選挙における当連盟推薦候補者 (氏名、政党、現新、選挙区、略歴、写真)

杉 ひさたけ 公明党 (現職) 大阪府

昭和51年1月生まれ。49歳。参議院議員2期。公明党青年委員長、同税制調査会事務局長、同大阪府本部代表代行。元財務大臣政務官。公認会計士、税理士、行政書士。米国公認会計士試験合格。



西 田 昌 司 自民党 (現職) 京都府

参議院議員3期 (京都府議5期歴任)。自民党財政改革検討本部長代理、自民党税制調査会幹事、与党北陸新幹線『敦賀・大阪間』整備委員長、自民党京都府連会長。税理士。滋賀大学経済学部卒業。



か だ 裕 之 自民党 (現職) 兵庫県

昭和45年6月8日生。平成15年兵庫県議会議員初当選、4期16年間奉職。令和元年参議院選挙初当選、法務大臣政務官、経済産業・法務・議院運営の各委員会理事。国会対策副委員長などを歴任。



高橋 みつお 公明党 (現職) 兵庫県

公明党青年委副委員長、同学生局長、同兵庫県本部副代表、同農水部会長代理。参院農水委員、同外交・安保調査会理事。参議院1期。元農林水産大臣政務官。元外交官。兵庫県宝塚市出身。中央大学卒。48歳。



堀 井 いわお 自民党 (現職) 奈良県

奈良県橿原市。昭和40年10月22日生／59歳／参議院2期。(現)党副幹事長、予算委、外防委。(元)外務副大臣、党外交部会長、外務大臣政務官、総務省、SF領事、内閣官房副長官秘書官、岡山県総務部長、東大卒業。



近畿税理士政治連盟

第59回定期大会

日時：令和7年9月5日 (金) 13時～

場所：帝国ホテル大阪

※代議員の先生方は出欠に関らず、必ず委任状により議決権の行使をしてください。

※定期大会後の国政報告会と懇親会は、一般会員の先生方も出席できます。

国会議員等による確申期税務相談会場の視察

近畿税理士会では、令和6年分の所得税確定申告において、納税義務の適正な実現を図ることを目的とする税理士の立場および税理士業務の社会公共性・独占性に鑑み、各支部において税務相談会場を、税理士会館ではコールセンターを運営し税務支援の施策を実施した。

当連盟では、税理士会がおこなっている社会貢献事業である税務支援について、関係国会議員等に理解を得るため、税務相談会場の実情視察を要請したところ、24人の国会議員等が28の相談会場を視察した。

視察では、税理士による国会議員等後援会役員、支部および支部連役員、本部役員が議員等を案内するとともに、近税会支部役員の協力を

得て、税務支援の抱える問題点や、無料相談の意義について説明をおこなった。また、相談に訪れた納税者と直接対話する機会もあり、中小事業者をはじめとする納税者の実情に触れた。

視察をおこなった国会議員等からは、税理士が地域の中小事業者をはじめとする納税者に対し長年にわたり税務支援をおこなっていることに謝意が表され、申告納税制度の維持発展のために税理士が果たしている役割は多大であるとの認識を新たに示すことができた。

視察後はそれぞれ国会議員等との懇談会を実施し、令和7年度税制改正において実現した項目についてお礼申し上げ、さらなる要望の実現を求め陳情をおこなった。

令和6年分「所得税確定申告期における税務相談会場」の視察状況

院	視察議員氏名	選挙区	政党	視察月日	視察会場
衆	池 下 卓	大 阪 10	維 新	2月10日(月)	高槻市総合センター
衆	勝 目 康	京 都 1	自 民	2月17日(月)	西陣織会館、中京納税協会、下京納税協会
衆	泉 健 太	京 都 3	立 憲	2月5日(水)	長岡京市産業文化会館
				2月7日(金)	京都市醍醐交流会館
衆	本 田 太 郎	京 都 5	自 民	3月1日(土)	綾部商工会議所
衆	関 芳 弘	兵 庫 3	自 民	3月3日(月)	神戸サンボーホール合同会場
衆	西 村 康 稔	兵 庫 9	自 民	3月3日(月)	明石納税協会
衆	松 本 剛 明	兵 庫 11	自 民	2月17日(月)	姫路労働会館
衆	大 串 正 樹	比 例	自 民	3月3日(月)	伊丹商工プラザ
参	杉 久 武	大 阪 府	公 明	2月17日(月)	天王寺納税協会
参	松 川 る い	大 阪 府	自 民	2月21日(金)	天王寺納税協会
参	西 田 昌 司	京 都 府	自 民	3月3日(月)	西陣織会館
参	吉 井 章	京 都 府	自 民	3月2日(日)	西陣織会館
参	福 山 哲 郎	京 都 府	立 憲	2月18日(火)	大阪国税局京都分室(東山税務署分室)
参	高 橋 光 男	兵 庫 県	公 明	2月10日(月)	芦屋ラポルテ本館
参	伊 藤 孝 江	兵 庫 県	公 明	2月10日(月)	芦屋ラポルテ本館
参	堀 井 巖	奈 良 県	自 民	2月7日(金)	葛城支部地区相談会場(イオンモール橿原会場)
参	こやり 隆 史	滋 賀 県	自 民	2月3日(月)	米原市役所
非	中 山 泰 秀	非 現 職	自 民	2月13日(木)	大阪市立城東区民センター
非	國 重 徹	非 現 職	公 明	2月7日(金)	淀川区役所
非	伊 佐 進 一	非 現 職	公 明	2月21日(金)	守口門真商工会議所
非	宗 清 皇 一	非 現 職	自 民	2月6日(木)	東大阪市役所
非	山 本 かなえ	非 現 職	公 明	2月10日(月)	堺地方合同庁舎
非	谷 川 と む	非 現 職	自 民	2月8日(土)	泉南イオン
非	柳 本 顕	非 現 職	自 民	2月5日(水)	南港会場、西成税務署

※政党名は、視察時の政党名を記載しております。

税務相談会場の視察の様子①



池下 卓 衆議院議員



勝目 康 衆議院議員



泉 健太 衆議院議員



本田太郎 衆議院議員



関 芳弘 衆議院議員



西村康稔 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



大串正樹 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



松川るい 参議院議員



西田昌司 参議院議員



吉井 章 参議院議員

税務相談会場の視察の様子②



福山哲郎 参議院議員



高橋光男 参議院議員



伊藤孝江 参議院議員



堀井 巖 参議院議員



こやり隆史 参議院議員



中山泰秀 元衆議院議員



國重 徹 前衆議院議員



伊佐進一 前衆議院議員



宗清皇一 前衆議院議員



山本かなえ 前参議院議員



谷川とむ 前衆議院議員



柳本 颯 前衆議院議員

後援会ニュース

池下卓後援会 設立総会

1 月 19 日、高槻市役所内にある高槻市立生涯学習センターにおいて、税理士による池下卓後援会設立総会が開催された。

来賓として、池下卓衆議院議員、那須弘敬近税政会長、長谷川隆史近税政幹事長、田達満近税政大阪府連会長が出席した。



太田聡会員の司会による開会宣言、太尾田博发起人による設立趣意書の説明、池下議員の経歴が紹介された。

続いて議長に宮口太会員が選出され、議事に入った。第 1 号議案から第 4 号議案まで、全て原案通り可決承認され、税理士による池下卓後援会が設立された。そして後援会会長に就任した太尾田会長より、就任のあいさつがあった。

続いて来賓の那須近税政会長、田近税政大阪府連会長より祝辞があった。

その後、税理士でもある池下議員より後援会設立の謝意と国政報告、そして日本維新の会の税理士制度推進議員連盟の幹事長および財務局長として、税理士や中小企業経営者、地域の声を国政に届け、税制改正や経済対策に反映させるべき物価高騰対策、中小企業を元気にしていきたい決意を述べた。

最後に、神園兼治副会長による謝辞と閉会のあいさつが述べられ、設立総会は終了した。

引き続き、会場をつきの井に移し、懇親会が開催された。
(後援会寄稿)

吉井章後援会

令和 6 年 10 月 2 日、からすま京都ホテルにおいて、税理士による吉井章後援会の第 1 回定期総会が開催された。来賓として吉井章参議院議員、近税政より那須弘敬会長、長谷川隆史幹事長が、近税政京都府支部連より中谷隆夫会長、高橋宏至幹事長が出席した。



松永幸大幹事長の司会により開会が宣言され、榎和哉会長によるあいさつがあった。

引き続き榎会長が議長となり、上程された議案が慎重審議の結果、全て可決承認された。

那須近税政会長より祝辞で、自民党総裁選について自身による独自の分析が披露された。

吉井議員のあいさつおよび国政報告では自民党総裁選挙の詳細と来る参議院議員通常選挙に向けた決意を述べた。内容としては「能登半島の 2 度に重なる災害について追悼の意を表し、バブル崩壊後に国が積極的に道路整備について財政出動をおこなわなかったことの反省をし、もっと積極的に地方創生を目指しての話があり、また選択的夫婦別姓について、多様性は認めるものの日本の家族制度の良さを存続させることが大事であり、LGBT は京都市のパートナーシップに協力することで解消できる」と説明された。

懇親会も松永幹事長の司会で開会され、参議院議員通常選挙の話題で終始し、無事閉会した。

(右京支部 平野 烈)

大塚高司後援会

開催日 令和6年10月7日
場 所 ホテルアイボリー（豊中市）
来 賓 大塚 高司 前衆議院議員
田 達満 近税政副会長
長谷川隆史 近税政幹事長



第13回定期総会の開会にあたり、森田茂穂会長より後援会活動へのお礼と税政連の理解者である大塚高司前衆議院議員をわれわれ税理士はこれからも全力で応援するとのあいさつがあったのち、座間昭男会員を議長に選出し活動報告などが審議され、上程されたすべての議案は満場一致で可決承認された。

来賓の長谷川近税政幹事長より、那須近税政会長の祝辞が代読された。

続いて、大塚前議員より活動報告があり「現在、自民党本部直轄の自民党大阪刷新本部の事務総長として、各自民党支部を回って色々な支援をお願いしている。その中で税理士の先生方とも連携を取りながら、税理士業界の発展や日本経済がよくなるために力を尽くしていきたいので今後ともよろしく願いいたします」とのあいさつがあったのち、森田会長から大塚前議員へ「税制改正に関する要望」が手渡された。

引き続き田近税政副会長の乾杯により懇親会が開会され、終始和やかな中、歓談がおこなわれ、座間会員の中締めにより終了した。

（豊能支部 首藤裕之）

伊藤たかえ後援会

開催日 令和6年12月7日
場 所 ザ マーカスクエア神戸
来 賓 伊藤 孝江 参議院議員
和田 浩孝 近税政副幹事長
蟬川 寛嗣 兵庫県第一支部連会長



税理士による伊藤たかえ後援会定期総会が開催された。

垣見芳正会長の開会宣言の後、宮本典子副幹事長の進行により総会議案は全て満場一致で可決承認された。

和田近税政副幹事長から那須近税政会長の祝辞を代読後、ヤングケアラー問題などの取組や税制改正要望などの解説があった。伊藤議員から赤羽・中野両議員への電話作戦のお礼の後、国政報告があった。公明党税制調査会事務局次長として103万円の壁などの問題に対応すべく、少数与党であるがゆえの調整に苦慮する中、国全体で7～8兆円、政令指定都市の神戸市400億円と予測される税収減の財源確保、事務負担を最少に一日も早く運用開始させたいとした。あわせて確定申告期限延長や年収の壁・支援強化パッケージの検討もしていることを報告した。

政治資金規正法改正について歳費や活動費などの渡し切り経費の見直し、使途の範囲の明確化と公開および残額の返納を求めていくとし、全議員が守れるルール作りが重要とした。

その後の懇親会にて来賓の中野洋昌国土交通大臣と高橋光男参議院議員から祝辞と国政報告がおこなわれた。（西宮支部 東耕 功）

高市早苗後援会 新春講演会

開催日 令和 7 年 2 月 2 日

場 所 リガーレ春日野 (奈良市)



武野勝文会長から高市早苗衆議院議員、那須弘敬近税政会長、長谷川隆史同幹事長、景山良一同奈良県支部連会長ならびに島田明近税会奈良県支部連会長の紹介があり、混沌とした世界情勢の中で、高市先生には、どのように日本を導いていただけるかお話が聞けるのでは、と期待を寄せた。那須近税政会長からは、そろそろ近畿から首相を出そうと激励の発言があった。

早速、高市議員の講演に入った。「治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会長を引き受け、まず、闇バイトについて強盗殺傷事件に至るなど凶悪化している点に着目し、法律の改正を待たずに運用を変えることで、緊急的な対策を取った。具体的には、仮装身分捜査が公文書偽造罪とはならず、刑法35条に規定する正当業務行為にあたるというもので、昨年中に法務省と警察庁の合意にこぎつけた。今後も命を守る提言を続けていく。日本列島の隅々まで災害にも強い、人材力、技術力、経済力も強く、成長を続ける豊かな国の姿を思い描いている。また、手取りを増やそうとすれば税制と社会保険制度とを一体的に見ていく必要がある。頑張っただけ報われる社会の作り方を考えていきたいので引き続きご指導をお願いしたい」と述べた。

最後に、長谷川近税政幹事長から講演に対してお礼のあいさつがあった。

(奈良支部 西口まゆり)

とかしきなおみ後援会

2月7日、吹田市のサニーストンホテルで第17回定期大会が開催された。

来賓は、とかしきなおみ元衆議院議員、後藤圭二吹田市長、里野善徳元吹田市議会議員、那須弘敬近税政会長、田中順也大阪府第3支部連合会会長、古川裕近税政吹田支部長が出席した。



上西通氏幹事長の司会により開会が宣言され、今回、退任予定の平山直樹会長よりあいさつがあった。定期大会では、3議案が一括上程され、全議案可決承認された。金子薫新会長がとかしき議員を国会に送り届けると宣言した。

後藤市長はあいさつで以下の主旨を述べた。性善説により情報の提供をしたのが一般市民に漏れた事件があった。公務員のみには守秘義務があるだけで議員にはない。それは性悪説によるものではなく、性弱説によるものだ。人間だれしも聖人君子ではなく弱いものである。とかしき元議員は、今国会でなすべきことは何かということを常に考える政治家であって、票集めだけの政治屋ではない。早朝からビラ配り・街頭演説と忙しく存在感を示し活動している。先日落選議員の厚生関係の集まりの中で議論したことを近々記者発表する予定である。その後、那須近税政会長が税理士制度発展募金のお礼のあいさつを経て定期大会は終了した。

懇親会の最後には、九鬼章泰会員が若き20歳代のトランプ大統領の映画“The Apprentice”を見ての感想を述べて盛り上がった。

(吹田支部 高木晴雄)

うえの賢一郎後援会

開催日 令和7年2月14日

場 所 浜湖月(長浜市)

来 賓 上野賢一郎 衆議院議員

小畑 雅人 近税政副会長

長谷川隆史 近税政幹事長

織戸 英信 滋賀県支部連合会長

税理士によるうえの賢一郎後援会の定期総会が開催された。村山学会員の司会のもと、野坂喜則会長の開会宣言、中村嘉造議長の進行によ



り、総会の議案はすべて可決承認された。小畑近税政副会長より「うえの議員は先般おこなわれた衆議院選挙当選後において、自民党税制調査会の幹部(インナー)に就任され、税理士会においても大変心強い。益々のご活躍を期待する」とのあいさつがあった。

うえの議員による国政報告では「所得税法改正の法案を本会議に上程したが、年収の壁問題においては与党と国民民主党との間で妥協点を見出す必要がある。少数与党となり、衆議院では大変難しい国会運営を強いられている。自民党自ら招いた政治と金の問題においてはしっかりと反省し、年度内の予算成立に向けて財源を確保したうえでの政策でなければならないことを念頭にこれからの国会運営に臨みたい」との報告があった。

織戸英信支部連会長の乾杯で懇親会が始まり、終始和やかな雰囲気の中、歓談がおこなわれ、箕浦康之会員の中締めで散会となった。

(大津支部 小川宗彦)

令和7年度会費 口座振替申込受付中！

近畿税政連では、口座振替による会費納入を推進しています。自動で口座より引き落としされ、納付書を持って郵便局やコンビニに行く手間が省けます。また、振込などによる振込手数料のご負担も必要ありません。この機会にぜひお申込みください。

現在、次年度分の令和7年度会費(令和7年7月～令和8年6月)分の口座振替による会費納入の申込を受付しております。



↓お申し込みはこちらより



団体コード:0936201

従来の申込用紙での申し込みを希望される場合は、

近畿税政連事務局(TEL:06-6944-9040)までご連絡ください。

申込書を郵送させていただきます。

※事務処理の関係上、6月10日(必着)までにお申し込みが必要です。

※政治資金規正法により、法人口座は指定できません。

[近畿税政連規約第6条]

近畿税理士会に入会している税理士会員は、その資格において会員となる。

用紙記入不要！上記QRコードから申込可能！

税理士制度発展募金(令和6年度)

ご協力に感謝いたします

令和6年7月1日～令和7年4月10日まで、以下の429人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

【東支部】 相間 靖三 相間 宏章 在本 茂 池上 義孝 池原 保三 石橋 基志 泉 洋平 植木 心一 植田 喜貴 江口 昌人 榎崎 洋 折井 宏 掛 善秀 川城 明彦 川人 正孝 岸部 輝一 岸村 元 清澤 由己 日下 敏彦 耕 泰一郎 小山 馨 小山 史郎 下村 幸尊 白石 信三 瀬川 昇 添田 訓嗣 高橋 秀樹 竹原 重光 田中 和雅 堤 昌彦 林 修一 平山 由美 藤田 洋 藤田 義則 藤原 智 増田 和彦 榎家 小鈴 松岡 正幸 森 喜和 森下 芳一 山田 一彦 矢本 博三 吉塚 健	【南支部】 岩本 武士 大澤 正治 小林 英夫 堀 拓滋 笹田 淳 城垣圭一郎 田畑 均 田 雄一郎 文山 幸子 室田 一榮 山科治三郎 山本 智之 若林日出紀 【浪速支部】 榮村 聡二 谷 武男 足袋拔 功 原 仁司 檜垣 典仁 藤原 伸彦 古川 貴博 三腰 信幸 【北支部】 石岡 俊和 加用 俊栄 川北 光博 川崎 哲之 木原 義和 佐藤 眞治 柴崎 光徳 下山隆一郎 城下 弘之 武智 寛幸 那須 弘敬 西川 榮治 日高 真帆 蓬萊 富雄 松本 亨 山村 典之 【福島支部】 小泉 丹二 分林 友秀 【大淀支部】 池辺 健 梶本 紀子 加藤 芳夫 木下 尚一 木下 泰三 坂本 善哉 佐藤 裕之 佐藤 正尚 中川 猛 西田 隆郎 速水 啓之 前川 武政	松下 隆信 八木 昭 八木 春作 【西淀川支部】 酒井 勇樹 仲田むつみ 【東淀川支部】 神谷 雅信 倉前 太一 小西 伸幸 谷口 嘉信 長岡 登 森本 好昭 山本多通男 【旭支部】 旭 輝明 天野香鶴子 今村 亮彦 上田 初幸 上田 実 上村 京勲 大久保一成 久木野正志 新田 博之 松井 光浩 見浪 一敏 宮下 公司 山本 清一 【城東支部】 駒井 良一 原 洋二 【枚方支部】 大森 正 大森布実子 杉 孝一 杉本 隆志 竹内 正 竹原 正和 津田 公男 橋本 光世 林 武 平田 義明 米倉 俊徳 渡邊 清治 【門真支部】 神原 隆雄 齊藤 知子 清水 佳子 長谷川 勝 【天王寺支部】 浅田 恒博 石原 健次 稲田 繁 今井 基剛 上西左大信 奥 光明	鎌倉 邦裕 北尻 裕二 坂口 明久 菅原 宏平 田部 純一 辻本 典彦 辻本 好広 中尾 隆彦 本谷 隆志 山崎 和裕 山田 裕一 山本 敬三 【生野支部】 植村 尚美 【東成支部】 上林 環 【阿倍野支部】 片山 功 片山 拓 鈴木 達也 瀬戸 繁治 西山 孝司 結城 順吉 【東住吉支部】 荻堂 直樹 山野 展弘 【西成支部】 中山 彰 西岡 祥典 【住吉支部】 池上 弘美 榎本 潔 榎本 芳美 田 達満 中野 雅司 服部 浩之 眞鍋 光廣 眞野紗央理 山下由美子 大和 司 【富田林支部】 稻次 啓介 北野 益士 公原 博之 段野 隆弘 【東大阪支部】 石賀 良明 今中 勇兵 大西 孝幸 北野 裕二 嶋田 薫 砂本 清 辻本 博美 藤本 幸三 山口 秀秋 山口 正輝	山根 章憲 山本 哲世 弓手 宏亮 吉田 信次 米満 信昌 【八尾支部】 杉井 卓男 脇田 隆博 【堺支部】 東 俊夫 阿部 信文 池田 茂雄 池田真由子 大谷富太郎 北山 拓生 高澤富士子 高原 和仁 辻尾 茂 中野 誠 中村 賢一 本莊 幸正 宮前 雅典 【泉大津支部】 石谷 秀志 笠井 慎五 幸野 陸紀 阪 広久 根尾 勉 山口 茂 宇賀 一夫 清原 正治 坂口 和代 田口 誠 藤原 博文 松田 峰成 森本 幸良 【泉佐野支部】 田中 洋 吞海 英治 屋馬 義宏 【茨木支部】 伊月 圭子 神園 兼治 神山 昌子 川中 雅人 笹原 克重 谷井 肇 土井原弘司 仲 猛夫 中澤 保恵 船木 由子 船橋 充 宮口 太 本西登志子 山内 幹雄	吉永 直也 【吹田支部】 佐藤 竜宏 高木 晴雄 【豊能支部】 岩倉 唯 衛藤 雄次 大西 尚史 沖名子祐光 荻野眞由美 座間 昭男 首藤 裕之 西村 公宏 平山 高明 与北奈須夫 吉本 英明 和田 浩孝 【上京支部】 東 智之 奥村伊之春 河合 泰子 近藤 明夫 鹿野 幸裕 三宅 崇史 室谷 澄男 矢田 善久 【中京支部】 芦田 勝博 井根口昭吾 上野 正幸 上前 孝晴 小林 由香 佐々木栄美子 巽 員規 土井 充 中村 清之 福島 重典 村尾 法生 【下京支部】 海来 美鶴 榎 和哉 神緒 美樹 北村 茂昭 橋本 清治 保野 剛 藪 壽人 吉田 和之 【右京支部】 井上 雅之 岡本 理博 河合 典之 岸本 郁男 平野 烈 藤田 高広 船越 善博 【左京支部】	高木 寛司 原 謙介 村中 平治 【東山支部】 藤原 俊文 山元 直貴 米澤 博充 【伏見支部】 植田 順 杉田 德行 田中 明 【宇治支部】 大高 友紀 片野 晏弘 平松 正孝 松本 泰典 【福知山支部】 衣川 憲治 中井 正紀 船越 成人 【宮津支部】 西田 文明 松宮 繁雄 山添 謙三 【峰山支部】 廣谷 倫成 【神戸支部】 赤松 健二 植村 貴美 壽 信明 永野 卓美 西馬 正義 沼田 雄大 平澤裕紀子 【灘支部】 池田 直樹 岡村 景明 桑原 幸司 古泉 雷太 下浦 幸信 高見 悟 長谷川隆史 【兵庫支部】 矢野 昭博 山内 健士 【芦屋支部】 蟬川 寛嗣 光永きみ子 森本 康正 【明石支部】 船造 幸雄 【加古川支部】 中島 省悟 蓮岡 弘 【西宮支部】 浦濱 勇	越智 彰 永田 清行 丹羽 洋作 村田キヨ子 横山 文彦 【尼崎支部】 植村 和弘 唐澤 康雄 田川 善弘 傳寛 弘司 野村 佳生 【伊丹支部】 伊田 憲司 岡田 彰徳 林 文彦 【姫路支部】 大形 茂雄 笠原健次郎 河本 勝英 後藤加代子 小林 雄介 澤田 千博 田尻 永介 橋本 悠志 濱田 誠二 藤岡 保 藤原 美奈 前田 俊明 松岡 宸宏 山下 哲 山本 清輝 【社支部】 黒石 淳司 下山 仁 長田 達子 【龍野支部】 馬場 智久 【相生支部】 難波 旦慎 【豊岡支部】 生駒 敬一 【奈良支部】 景山 良一 柴田 順子 新屋 珠美 凶司 節生 武野 勝文 土岐 直人 徳久亮太郎 中嶋 祥貴 西内 正規 西口まゆり 濱田 武利 増井 隆彦 森田 務 山本 智美	【葛城支部】 出川 洋 中川憲二郎 藤田 徹 【吉野支部】 金田 光司 【桜井支部】 杉本 幸弘 西岡 明 【和歌山支部】 淡路 満 石川 泰廣 岩見 文章 大住 文夫 木村 雅彦 後安 宏彦 小西 里枝 白濱 祐季 額田 朋子 堀 博充 宮下 智之 和中 修二 【海南支部】 井上 雅貴 【粉河支部】 奥田 崇喜 【御坊支部】 佐竹 節夫 【大津支部】 魚津 伸也 織戸 英信 島淵 裕一 中西 知行 和澤 清隆 【今津支部】 河原田新市 小畑 雅人 地村 秀磨 【草津支部】 阪口 倫造 関 輝男 田中 正志 東郷 修 増井 常夫 松尾 優子 【水口支部】 上杉 恵一 【近江八幡支部】 上野 安德 【彦根支部】 三輪 和宏 【長浜支部】 田中 光夫
--	---	---	---	---	--	---	---	---

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金へのご協力をお願い」をご覧ください。

税政連 Q & A

～税政連活動の正しい理解のために～

税政連の必要性

Q. 税政連はどうして必要なのでしょう？

A. 税理士会は税理士法により建議権が認められています。この建議権に基づいて税理士会は税制改正などの要望を行います。しかし、税理士会は税理士法に基づく強制加入の特別法人であり、政治活動を行うには制限があります。そこで、税理士会に代わり、その活動を行っているのが税政連です。あわせて、税政連は「税理士の社会的地位の向上」や「税理士制度の発展」をめざして活動を行っている団体です。

陳情活動の必要性

Q. どうして、陳情活動が必要なのでしょう？

A. 税制改正や税理士法改正など、法律は国会において審議され、立法化されます。そのため、税理士会の意見が法律に取り入れられ、より良い制度にするためには、立法府の構成員である国会議員等に対して陳情活動を行わなければなりません。あるべき税制の実現、税理士制度や税理士の権益に関連する問題について税理士の立場から政治活動を通じて解決を図るためには、税政連の陳情活動は不可欠なのです。なお、税政連は、一般的な政治的主義や主張を実現しようとする政治団体ではありませんので、いわゆる政治献金は行っておりません。

税理士の要望を伝えるために

Q. 税政連の主な活動について教えてください。

A. 税政連の主な活動は、税理士会の方針に添って、政党や国会議員等に働きかけを行うことです。これらの効果を高めるために国会議員等の選挙において推薦候補者を決定し、その選挙の支援活動を行うことも前述の陳情活動とともに重要な施策の一つです。

また「税理士による国会議員等後援会」を結成し、当連盟の目的達成のために国会議員等と常日頃から接触し、国会の情勢や生の政治の動き等の情報を得ると同時に、われわれの要望を十分伝えて理解を得る活動を行っております。

税政連活動の成果

【税理士制度と職域に関する成果】

- ・ 経済産業省の認定支援機関制度の担い手として、税理士が明記された（平成24年改正）等
- ・ 登録政治資金監査人の資格者として税理士が明記された（平成20年改正）
- ・ 現物出資の際の検査役の証明に変えて、その証明ができるようになった（平成14年改正）
- ・ 地方公共団体の外部監査人制度の担い手として、税理士が明記された（平成9年改正）

【税理士法改正に関する成果】

- ・ 税理士の業務のICT化推進の明確化（令和4年改正）
- ・ 公認会計士に係る資格付与の見直し（平成26年改正）
- ・ 税務訴訟に関し、裁判所において補佐人となる制度の創設（平成13年改正）

税政連は税理士会の要望を実現するための組織です

広報委員会からのお知らせ

第3回 写真コンテスト

のご案内

さて、近畿税政連の広報活動の一環として『第3回写真コンテスト』を開催することになりました。下記の要領で募集いたしますので、どうぞ奮ってご応募ください。

応募要領

応募作品 テーマは自由です。

応募期間 令和 7 年 1 月 6 日 (月) ~ 令和 7 年 6 月 27 日 (金) 消印有効

応募資格 近畿税理士政治連盟 令和 6 年度会費納入者 に限ります。

応募点数 ひとり 2 点まで (※入賞はひとり 1 点)

作品サイズ ワイド四切、A 4 (※フチ無しプリントをお願いします。空白が多い場合は失格)

応募規定 ■ご本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りします。

■合成写真は不可とします。(比較明合成、比較暗合成、多重撮影、深度合成は問題ありません)。

■公序良俗に反する作品、過度の画像補正の作品は応募できません。

■人物の入っている作品については、肖像権の問題が発生する場合がありますので、必ず被写体の了解を得てください。(了解を得ている場合、応募票へ記入)

■過去に他のコンテスト等で入選、入賞の作品は応募できません。

■インクジェットプリントも可 (ただし、写真用紙をご使用ください。コピー用紙・普通紙・スーパーファイン用紙は失格となります。)

■作品の裏には応募票を含め、何も貼らないでください。

■写真タイトルも重要です。タイトルも審査の対象になります。

応募方法 ■郵送でご応募ください。税政連事務局へ直接お持ちいただいても結構です。

■写真の天地が判るように、作品の裏側に“天”・“地”を記入いただき、指定の応募票に必要事項をご記入の上、作品に添えてご応募ください。

応募票は、その他注意事項は下記より！ ↓

作品返送 入賞作品以外は返却いたしません。

審査方法 外部の審査員による審査

発 表 ■機関紙 (新年号) にて発表

■表彰式を令和 7 年 9 月中旬に開催

■当連盟定期大会 (9 月) の会場で展示予定。

■入賞作品は機関紙の表紙写真に使用いたします。

当連盟ホームページへも掲載いたします。

■機関紙・ホームページへの掲載のため 入賞作品については、後日データのご提出をお願いいたします。

**応募先**

〒540-0012 大阪府中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

■作品は、機関紙・ホームページへの掲載等広報活動に利用させていただきます。

私が当連盟の広報委員を拝命して初めての委員会が、令和5年11月に開催されました。それ以降の会議には、おかげさまで今のところ皆勤しております。原稿の校正作業や税政連を取り巻く諸問題（特に会費収納率の向上について）の議論などで、出席のたびにさまざまな気づきがあります。また、他支部の先生方と交流する機会が多いことも当委員会の魅力だと思います。委員になる前は「税政連の広報委員は忙しくて大変だ」とのお声をちらほらといただいておりましたが、私は案外気に入っておりますのでご安心ください。

(茨木支部 小山正之)



「近畿税政連」の記事の「後援会ニュース」については、定期大会である場合には大会の議事進行内容を会員に伝えることが第一義だと思います。国政報告会や講演会である場合は、代議士の信条を伝えることも大切な目的だと思います。過日、高市早苗議員の新春講演会が奈良市で開催され寄稿の当番として、字数制限のある中、高市議員の国政報告をできる限り多く記事にしたいと考え四苦八苦して仕上げました。

(奈良支部 西口まゆり)

三重にはどのルートで向かうのだろうか？残念なことに「関西線」を挙げる人は皆無だろう。この状況を改善すべく、三重県と亀山市・伊賀市は潜在需要検証と活性化・利用促進に向け、2月に臨時列車を運行した。特に加茂・亀山間の輸送密度は極めて悪く、廃線の声も囁かれるが当日は多くの乗客で賑わった。実は京都と三重を最短距離で結び、移動時間は短く料金も安い。大動脈の名神・新名神高速道路・名阪国道を車で移動している人が少し移るだけで輸送人員が改善できるのだ。かつての主要幹線として賑わいが戻ることを望みたい。

(草津支部 吉川孝二)

近税政本部のうごき

- 第3回推薦審査会（Web会議）（2月19日）
 - ・第27回参議院議員通常選挙における推薦候補者の決定について
 - ・参院選における選挙支援について 他
- 第5回広報委員会（4月4日）
 - ・機関紙第271号（12月号）・第272号（新年号）の批評
 - ・機関紙第273号（5月号）の編集について
 - ・機関紙第274号の編集企画に関する件 他

会 費 納 入 は

□ 座 振 替 で

申し込みは事務局(06-6944-9040)まで

最新情報はホームページにアクセス！

近 税 政

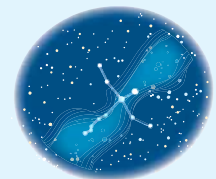
検 索

または <https://kinzeisei.jp/>へ

.....
会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

銀河系

年収の壁



昨年末から大きな議論となった年収の壁。その壁はいくつもあるという話題で年末を過ごした。今年に入ってから議論が重ねられ、税制改正が行われた。今回の改正は複雑で、内容が伝わりにくいのではないかと懸念する。また所得税にとどまらず、住民税、社会保険料に関しても同様の問題があるが、まだ十分な議論はなされておらず、今回の壁の解消は、第一歩であった。年収の壁は、長年多くの国民が関わってきた課題であり、今後の動向にも注視して行かなければならない。

税制については、国民の税負担の軽減、財源の在り方、様々な事業の必要性和その効果も含め、全体を俯瞰した議論を続けていくことが期待される。われわれ税理士は、税政連を通じ、その議論の一助となる活動が続けていく。

(芦屋支部 吉田智代)

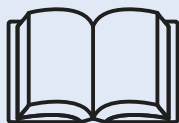
大阪・奈良税理士協同組合

スマホからでも
閲覧できます!

組合員・賛助会員専用ページのご紹介

WEB書籍販売(15%割引)

「WEB書籍販売」より
「清文社」「大蔵財務協会」「税務研究会」の
掲載書籍を組合員価格で
ご購入いただけます。



※送料は出版社ごとに一律350円
(各社10冊以上または16,500円(税込)以上のご購入より送料無料)

研修会申込・視聴・レジュメダウンロード

「研修会」よりご利用いただけます。

- ・動画を再生しながらレジュメを
表示させることができます!
- ・クレジットカードにて、支払いが
できるようになりました。
(事前決済のみ)



※受講登録は、近畿税理士会
「研修受講管理システム」にてお願いいたします。

各種資料等の閲覧・請求サービス

広報誌・定款等の閲覧や、
申請書のダウンロード、
資料請求サービスなどが
ご利用いただけます。



組合員価格での筆記用具・PC等の購入



「あっせん事業」よりその他のあっせん提携企業の
情報もご覧いただけます。

阪奈税協

検索

<https://www.hanna-zeikyo.jp/>

※組合員・賛助会員専用ページをご利用いただくには、専用ページへのログインが必要です。
※専用ページを初めてご利用される際には当組合が発行する仮パスワードが必要となります。
ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ TEL : 06-6941-6888 (阪奈税協事務局) Email : office@hanna-zeikyo.jp

つながる力が発展に

組合事業に一層のご協力をお願いいたします



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F)
TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<https://www.hanna-zeikyo.jp>